

オプトアウト

分子標的薬による皮膚障害の 調査および重症化予防の研究

- 研究の概要

奈良県立医科大学皮膚科は、「分子標的薬による皮膚障害の調査および重症化予防の研究」に参加しています。横浜市立大学皮膚科が、この研究の代表研究施設で、他にも数施設が参加しています。この研究に、当院皮膚科医師が、薬疹（薬剤が原因と考えられる発疹）を発症された患者さんの診療情報の一部を提供しますが、患者さんの個人情報（個人が特定できる情報）は含まれません。

- この研究は、実施承認後から 2021 年 3 月 31 日まで行われます。

- 分子標的薬の投与中または投与後に皮膚障害を生じ、奈良県立医科大学皮膚科を受診した 16 歳以上の患者さんで、本研究に同意いただける方に参加していただきます。

- 性別、年齢、薬剤投与歴、臨床写真（個人を特定できないよう加工したもの）、原疾患、薬剤、皮膚障害の種類、合併症、皮膚障害の治療と経過、検査所見、皮膚病理所見、自己抗体、ウイルス関連検査を研究に用います。

- 一旦同意した場合でも、あなた（または、あなたが代わりをつとめる提供者本人）が不利益を被ることはなく、いつでも同意を取り消すことができます。

- 研究機関の名称及び研究責任者の氏名 奈良県立医科大学皮膚科 研究責任者 正嶋 千夏

- 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。その場合、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。その場合は奈良県立医科大学皮膚科正嶋（しょうばたけ）へお問い合わせください。連絡先：0744-22-3051（内線 2337）